



甲午春  
鶴喜版

13  
3939



門へ13  
號 3939  
巻

# 旗飄菟水葛茵葉

甲午春 發版

通油町

吉見種繁作  
仙雀堂

歌川廣重画  
上冊  
板

一

其子の種はひさしなれども紅白の花と絞下のごう瓢の種へ大なるさま  
 ども其實は炭斗小作といへば曾根高砂の谷たるも初は松  
 笠のうらりあり溢れ酔醒の薬とあるはるる落ちりて芳野は千本  
 とよりなるなりん或は平種の切溜へ盛る或は手妻の種の袂尔  
 隠るの類種てふ物程その品の多く変化するものありとある  
 瓢亭種繁系が本田育を種として作て出しく繪草紙あり已  
 亭号の鉢瓢青その抜ぬ書振るれを花茂子の詠えと  
 なりけきことまご年之最若く作者の中の二葉あて学びの肥し  
 小莖たるは頓と花の開くと植つけし終校合の秋金をも  
 いれざ序をより記す

天保五年甲午正月

柳亭種彦





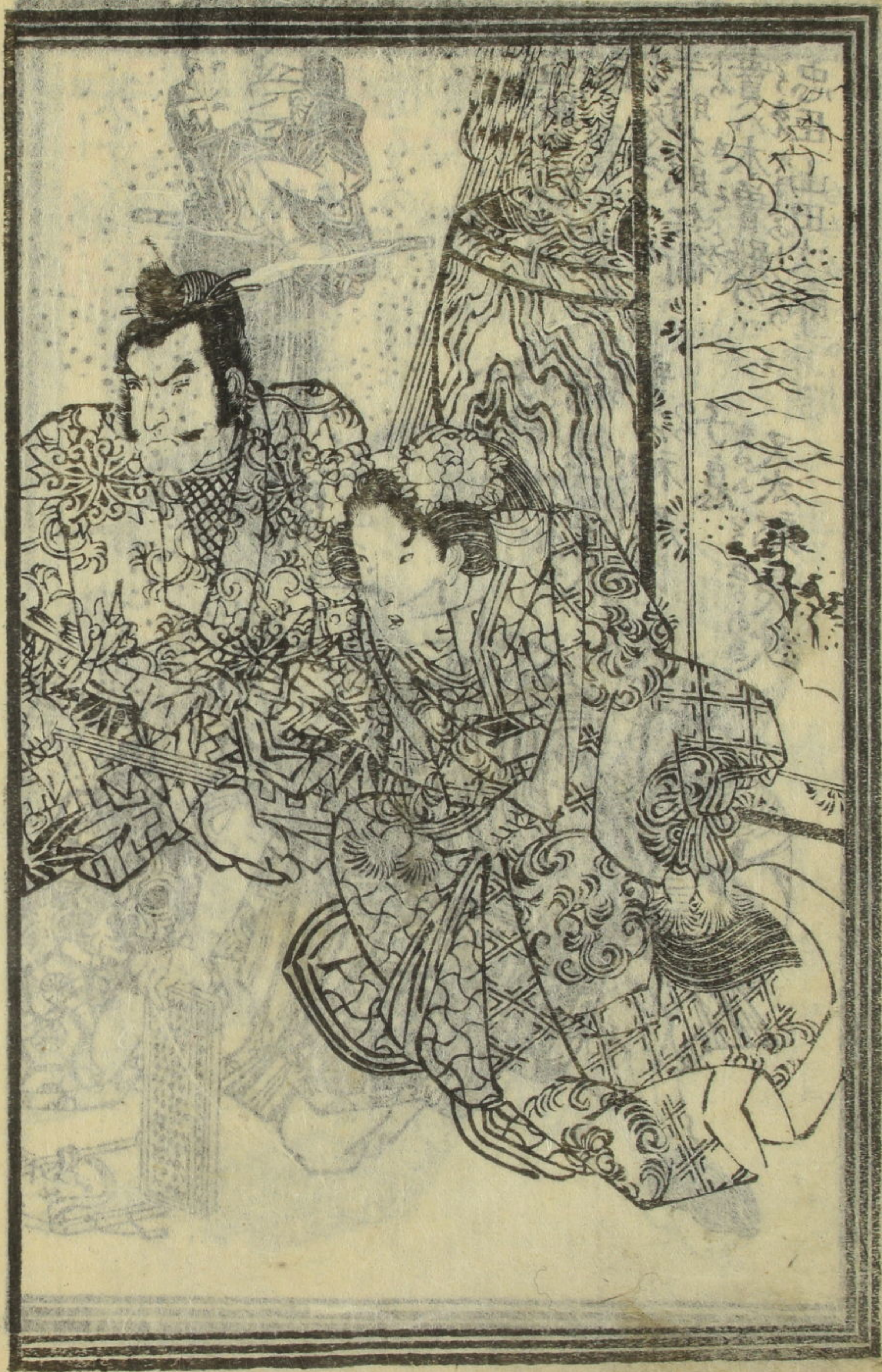
盗賊の  
長  
半時九郎兵衛  
實ハ木曾殿の  
忠臣山田次郎

かねり  
子銭家  
福德屋万  
實ハ神原佐大夫の  
子息  
又太郎長秋



佐々木の家臣  
神原佐大夫が  
一子佐七  
實ハ山田次郎が  
舎弟三郎  
佐七女房  
小糸

林亭蘇家



うがせとるん  
 宇治勢田敗軍と  
 聞えろ木曾義仲の  
 六條高倉小見そあころる  
 女房のけれ直寄て最  
 期の名残惜んと頼小  
 いでもせ越後の中太郎  
 此ありさゆて腹切て死  
 けれ義仲も我小きむる自害  
 こそとてやうて打立あひけり然る  
 このゆとそとあ  
 此女房木曾殿の記念を身あや  
 後不安産志けとらや  
 是發端るり

是の  
 是の







あつちのうらな...  
あつちのうらな...  
あつちのうらな...

あつちのうらな...  
あつちのうらな...  
あつちのうらな...

あつちのうらな...  
あつちのうらな...  
あつちのうらな...



あつちのうらな...  
あつちのうらな...  
あつちのうらな...

あつちのうらな...  
あつちのうらな...  
あつちのうらな...

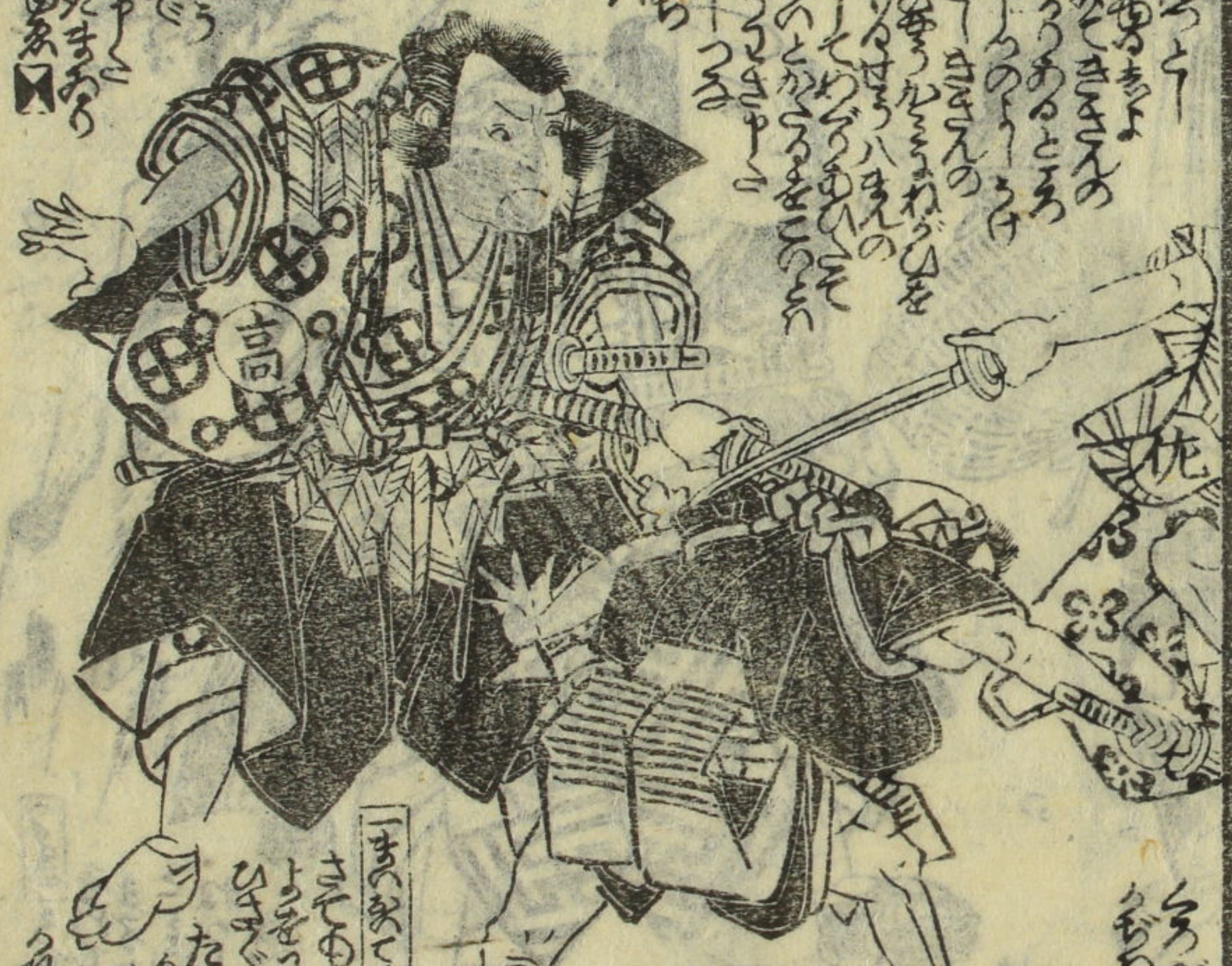
あつちのうらな...  
あつちのうらな...  
あつちのうらな...







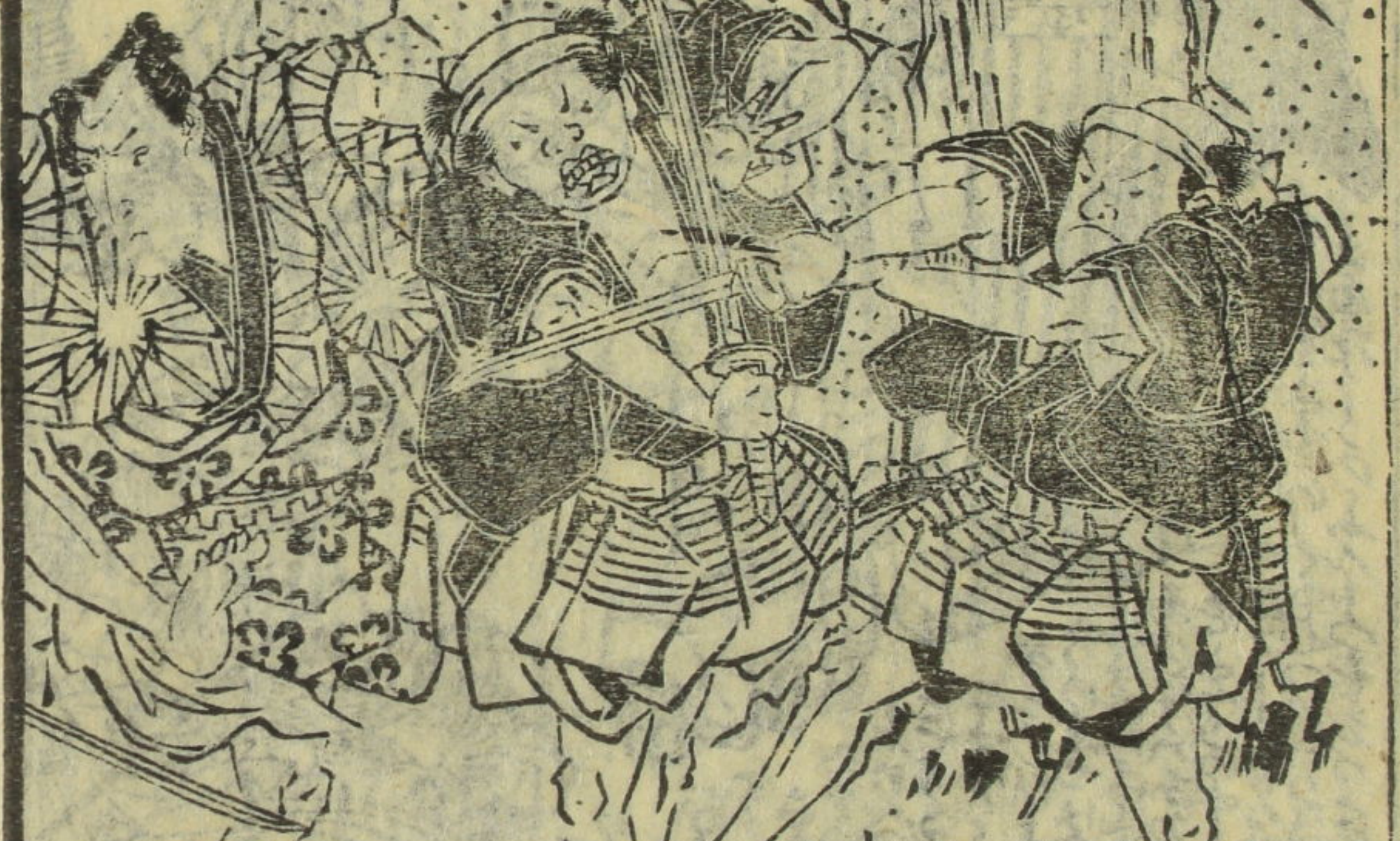
たちの死いふくはあんなに...  
 わるくも...  
 ...  
 ...  
 ...



...  
 ...  
 ...  
 ...

...

...  
 ...  
 ...



...  
 ...  
 ...

...

...



忠  
九

忠  
 九  
 花の散るは春のゆくへ  
 月夜の清き空に  
 花びら舞ひ下りて  
 人の心もまた  
 散らばるべし

忠  
 九  
 花の散るは春のゆくへ  
 月夜の清き空に  
 花びら舞ひ下りて  
 人の心もまた  
 散らばるべし

忠  
九

忠  
 九  
 花の散るは春のゆくへ  
 月夜の清き空に  
 花びら舞ひ下りて  
 人の心もまた  
 散らばるべし

忠  
 九  
 花の散るは春のゆくへ  
 月夜の清き空に  
 花びら舞ひ下りて  
 人の心もまた  
 散らばるべし



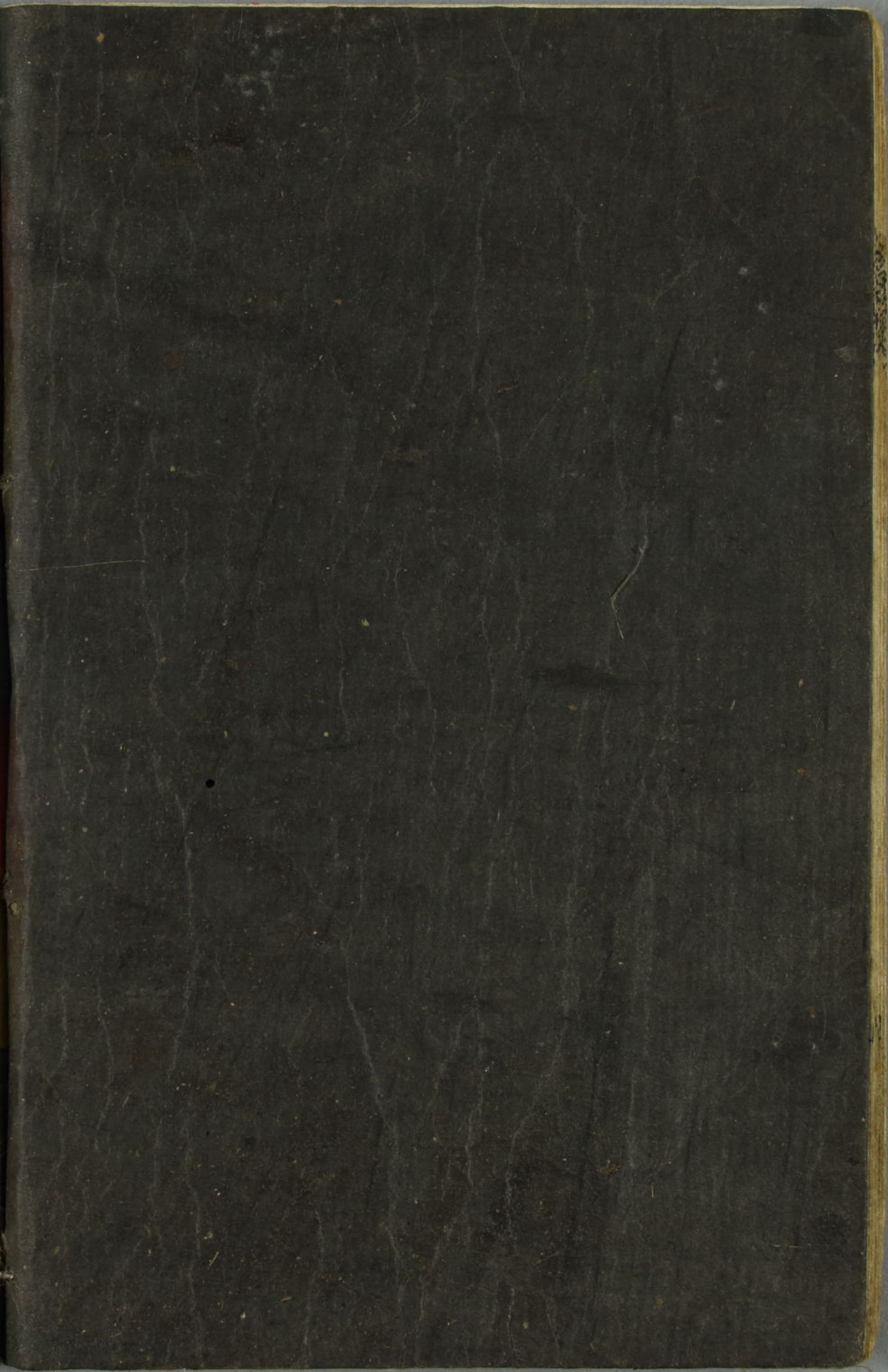
菟

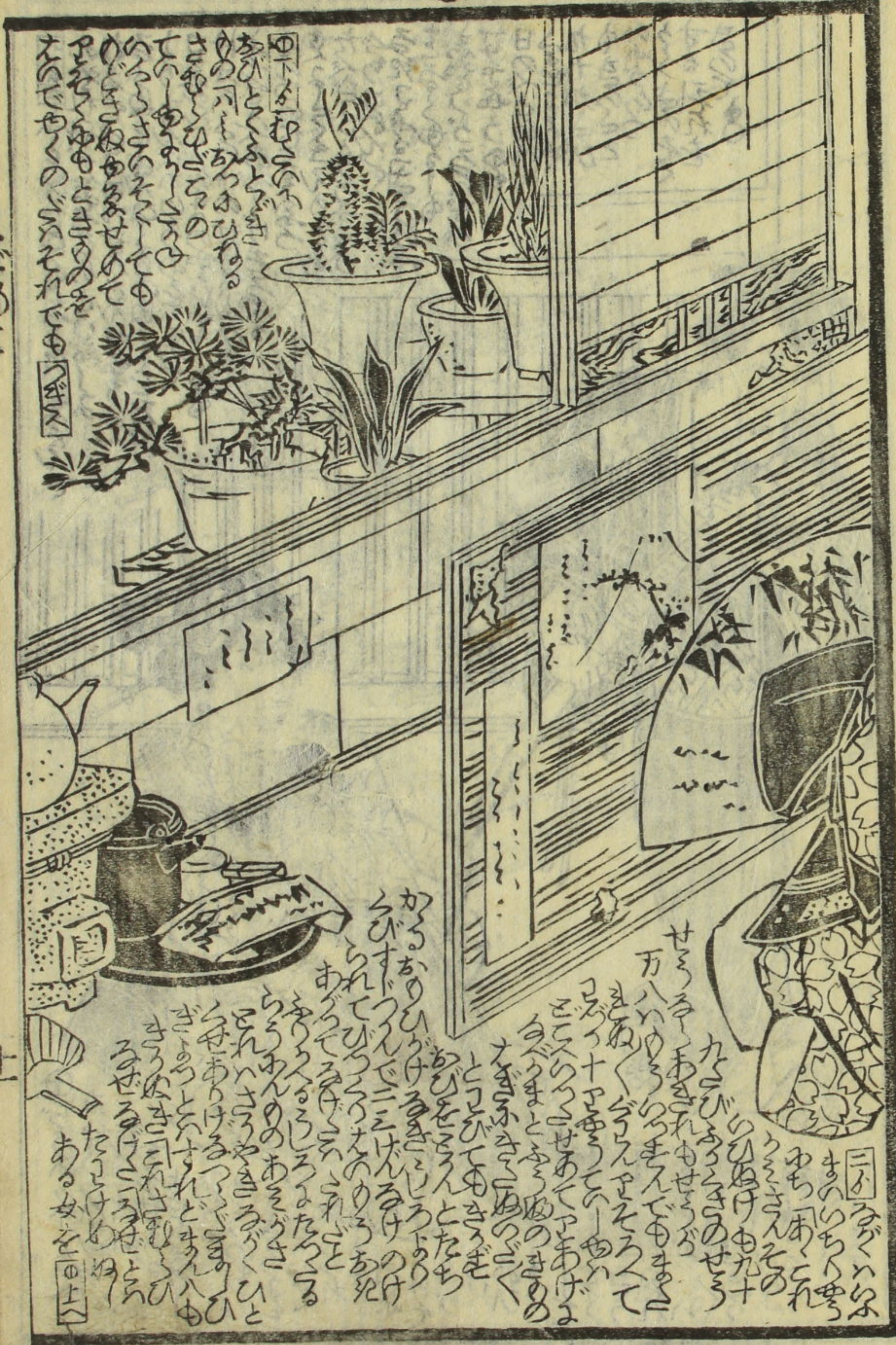
水

吉見禮繁作  
歌川廣重画



弁題國貞画





# 旗飄菟

甲午

孟春

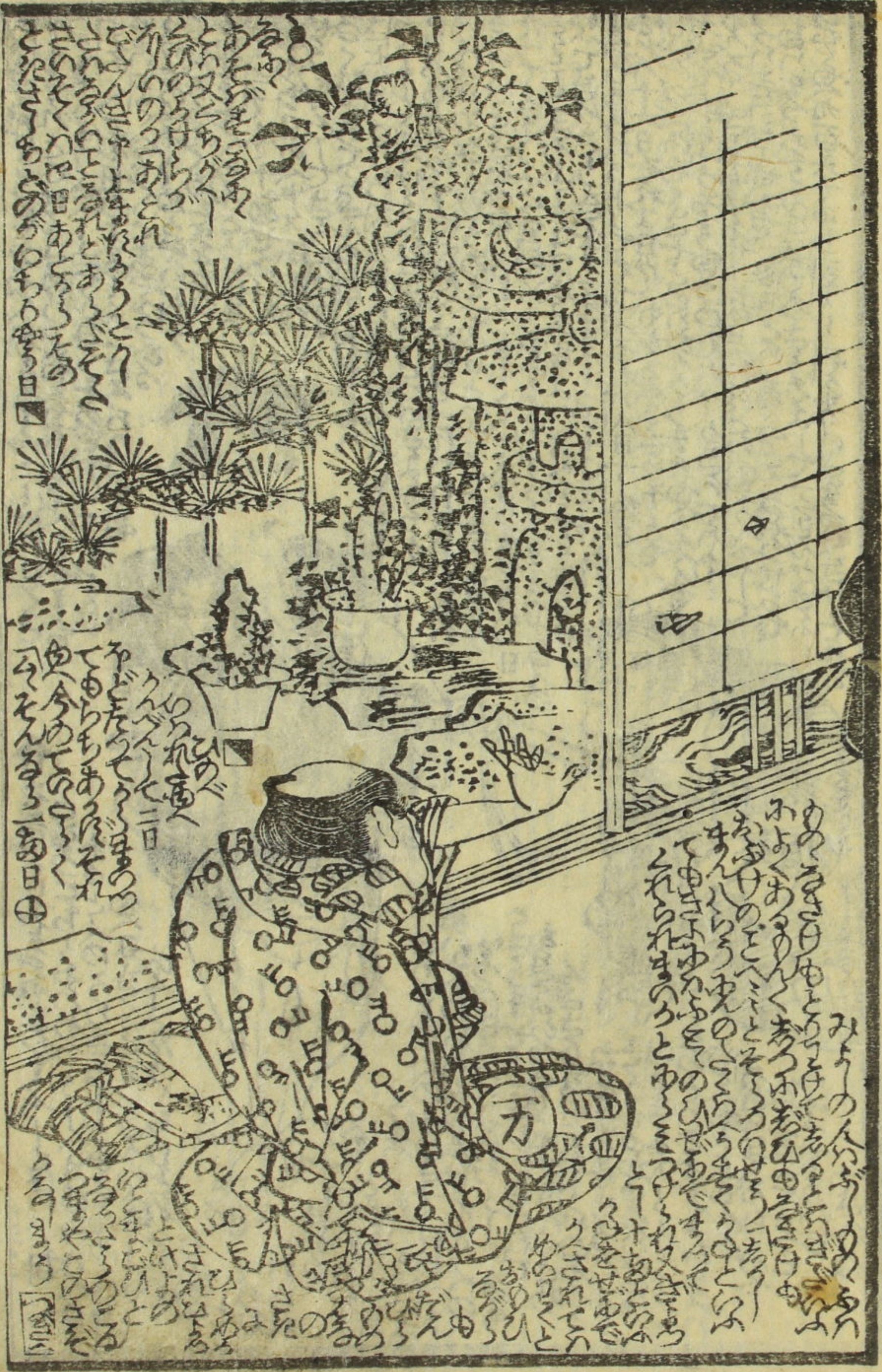
中河

# 水菖菖葉

通油町

鶴屋板

種繁作  
廣重画







右の女は... 左の女は... 山田の... 田舎の... 母... 父...



か... 山田... 田舎... 母... 父... 兄... 弟...



兄... 弟... 母... 父... 山田... 田舎...





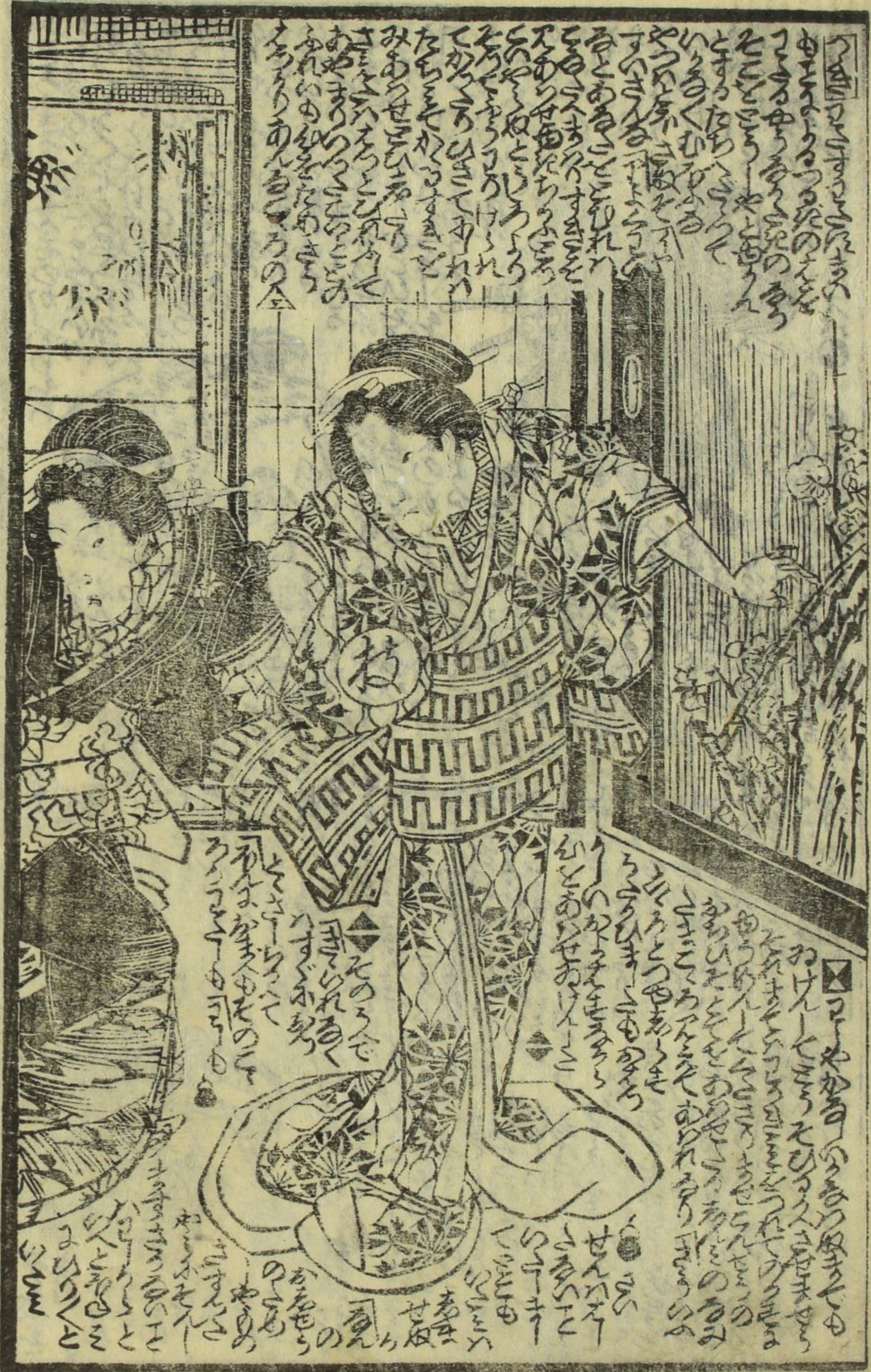
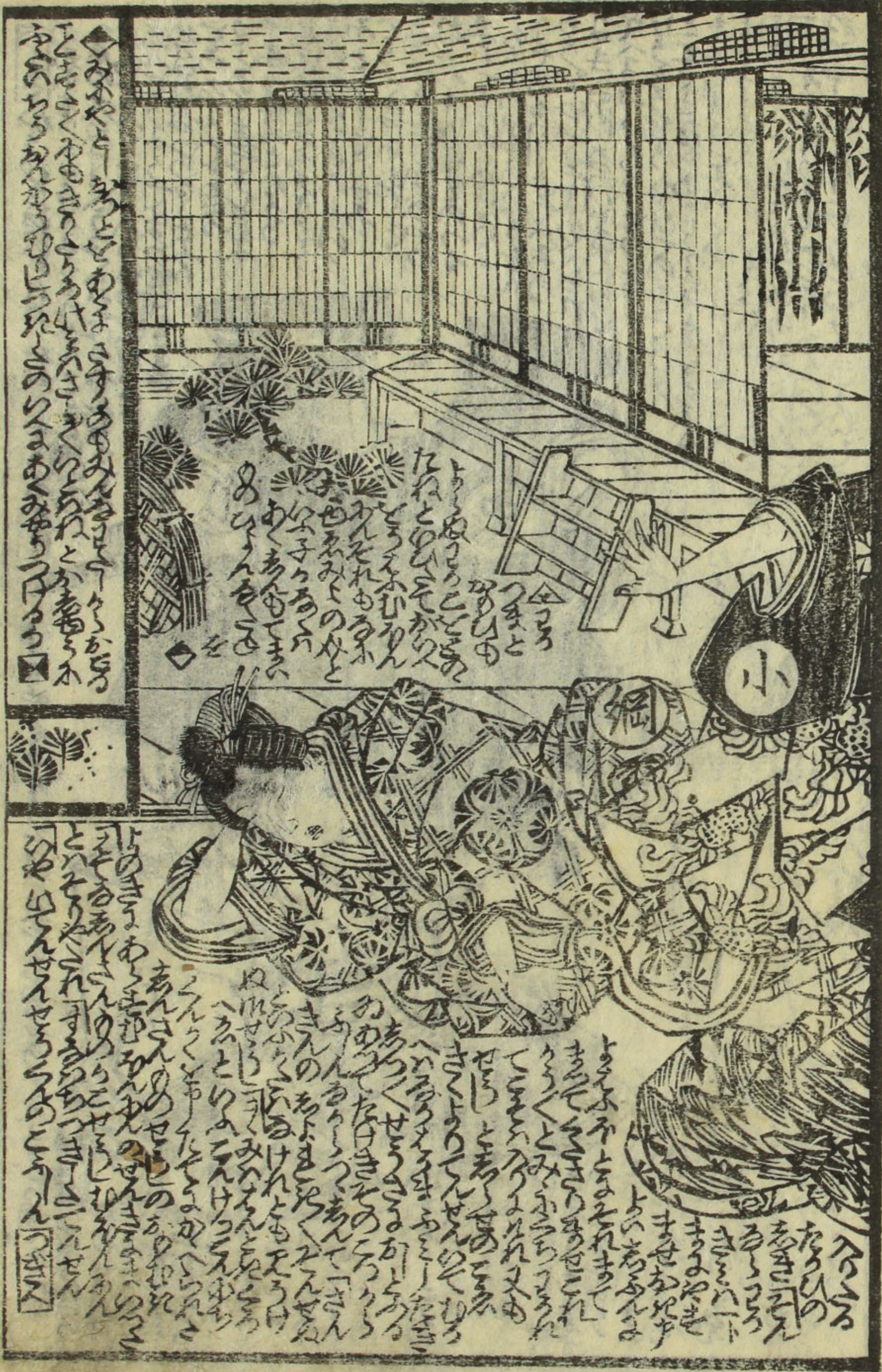
ついでに...  
これみよの...  
あんなに...  
さういふ...  
かたがた...  
おれは...  
さういふ...  
あんなに...  
さういふ...  
かたがた...  
おれは...



ついでに...  
これみよの...  
あんなに...  
さういふ...  
かたがた...  
おれは...  
さういふ...  
あんなに...  
さういふ...  
かたがた...  
おれは...







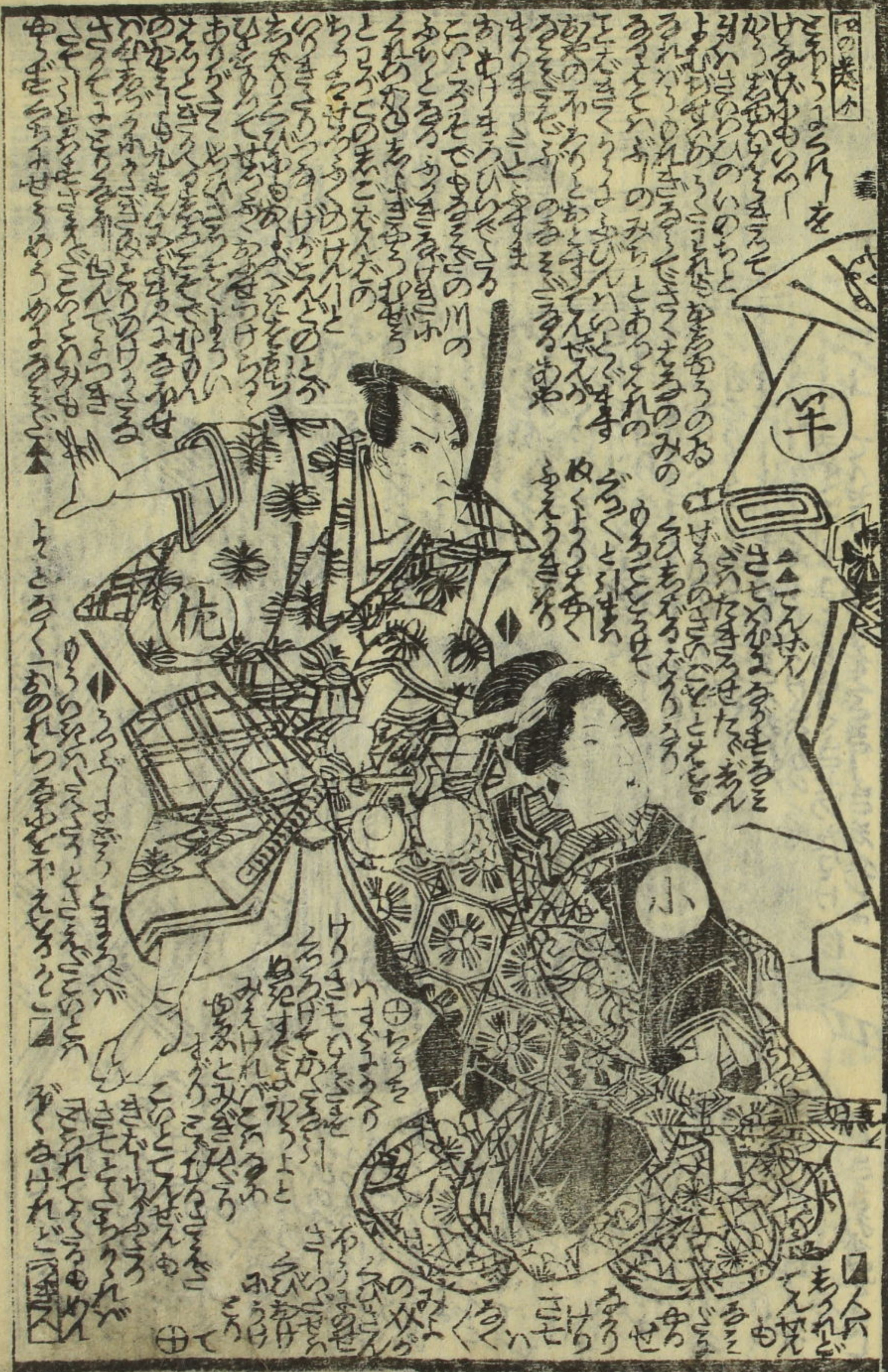


三河屋  
新









たご ひろがへ  
 族 飄  
 ろちた  
 乃 禁  
 種 盤 化  
 廣 重 画  
 洗 器 也  
 下 冊









おれこのまゝ  
のれいさや  
あつたまは  
うきやうつ  
あまのつら  
すまのつら  
るまのつら  
ひのつら  
もつら  
さつら  
さつら

のれいさや  
あつたまは  
うきやうつ  
あまのつら  
すまのつら  
るまのつら  
ひのつら  
もつら  
さつら  
さつら

あまのつら  
すまのつら  
るまのつら  
ひのつら  
もつら  
さつら  
さつら  
あまのつら  
すまのつら  
るまのつら  
ひのつら  
もつら  
さつら  
さつら



あまのつら  
すまのつら  
るまのつら  
ひのつら  
もつら  
さつら  
さつら  
あまのつら  
すまのつら  
るまのつら  
ひのつら  
もつら  
さつら  
さつら

あまのつら  
すまのつら  
るまのつら  
ひのつら  
もつら  
さつら  
さつら  
あまのつら  
すまのつら  
るまのつら  
ひのつら  
もつら  
さつら  
さつら



山田の...

山田の... の... の...



山田の... の... の... の...

山田の...

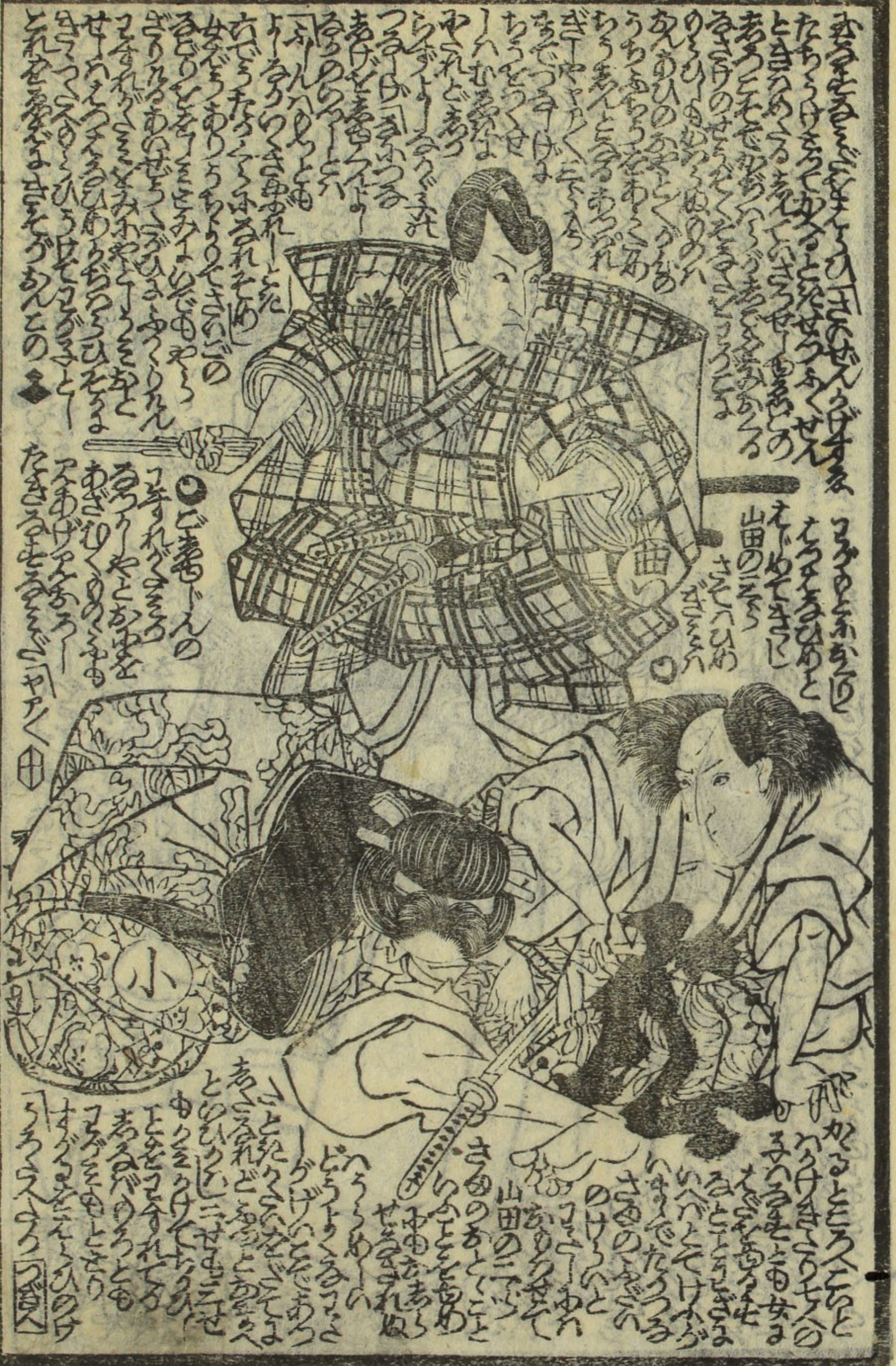
山田の... の... の... の...



山田の...

山田の...





おのれをいふは... (Text block at the top left of the illustration)

山田の... (Text block in the middle left of the illustration)

おのれをいふは... (Text block at the bottom left of the illustration)



おのれをいふは... (Text block at the top right of the illustration)

山田の... (Text block in the middle right of the illustration)

おのれをいふは... (Text block at the bottom right of the illustration)







